

平成27年度教室配属インターンシップ

皮膚科学教室 今年度は**2名** 募集します



皮膚に起きる現象を「科学の言葉」で理解する。その中に驚くべき生命現象が見えてきます。

皮膚科のメンバー

岩月啓氏教授ほか医局員19名
(男性6名, 女性13名, 大学院生2名)

よく使用している基本的な実験手技

- 細胞培養法, 小動物の飼育法
- 蛍光顕微鏡の使用法・撮影法
- 免疫染色法, FACS法, ELISA法
- RT-PCR法, ウェスタンブロット法
- 液体クロマト法

(ほかにも研究に応じて様々な実験手技が施行可能)



RT-PCR



顕微鏡(PC連結)

研究内容紹介

① ウイルス関連疾患の研究

EBウイルスは初感染で伝染性単核症の原因になる。その後、リンパ球などに潜伏感染し種々の疾患の原因となりうる。皮膚科領域では種痘様水疱症という小児の光線過敏症の原因であることをわれわれがつきとめている。教室ではEBウイルスの潜伏感染、再活性化の機序について研究している。その他乳頭腫ウイルス、水痘帯状疱疹ウイルスについても免疫学的な背景をふくめて研究を続けている。

② 自己免疫性水疱症の研究

天疱瘡の水疱形成のメカニズムや表皮細胞の接着構造の制御機構の解析している。

③ 皮膚免疫の研究

皮膚の抗原提示細胞であるランゲルハンス細胞や、plasmacytoid dendritic cellなどの樹状細胞の研究をしている。また表皮角化細胞をもちいて、種々の因子による免疫学的応答を解析している。

④ 臨床研究

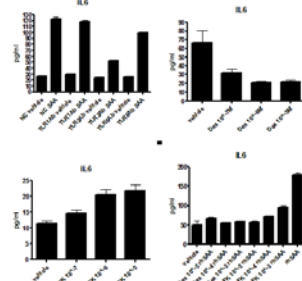
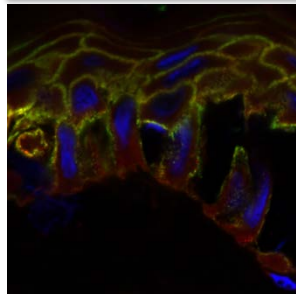
皮膚リンパ腫, EBウイルス関連リンパ増殖性疾患, 水疱症, 皮膚GVHD, 重症型薬疹, アトピー性皮膚炎などの皮膚疾患について疫学・アウトカム・新規疾患関連分子の探索・液性免疫学的特性・病理学的解析など実臨床に即した研究を推進している。

⑤ 遺伝性皮膚疾患の研究

先天性表皮水疱症など原因となる遺伝子異常を検討することで病気を正確に診断する。

【研究内容】平成26年度は3名が参加

1. 天疱瘡の水疱形成機序
2. 表皮角化細胞の免疫学的応答
3. 皮膚T細胞リンパ腫のクロナリディ解析



過去の実習内容(抜粋)

- ① 表皮角化細胞におけるTLR3の発現制御機構
- ② 高IgE症候群のSTAT3変異について
- ③ 皮膚感染症における表皮角化細胞の免疫学応答に関する研究
- ④ HSP70阻害剤のHDAC阻害剤感受性に与える影響
- ⑤ 皮膚におけるLEKTI(SPINK5)の発現制御機構に関する研究
- ⑥ 表皮角化細胞産生セリンプロテアーゼ阻害因子に関する研究
- ⑦ 重症薬疹患者における臨床的な背景と血清中のPeriplakin抗体検出率の検討

医局行事への参加

医局員との親睦を深めるため、医局行事にも参加していただきます。歓迎会もありますよ!!



皮膚科セミナーへの参加
(H20年5月 ローマ, ケルンの先生とともに)



学会への参加
(H25年9月 皮膚科学教室100周年記念)

メッセージ

アットホームで親しみやすく
事務員・技術員ふくめ女性
が多数でみなやさしいです。
ぜひ、一緒に実験しましょう。

募集: **2名**

